

# 基本施策評価シート

基本施策最終評価

A

基本施策通し番号 4

**基本施策** 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催  
**構成施策**

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	福井しあわせ元気国体などの円滑な準備と運営	A
施策2	福井しあわせ元気国体などを契機とした取り組み	A

**成果指標**

指標	内容	平成32年度 目標	平成30年度末 実績	単位	平成30年度の成果の検証
	この基本施策に関連する成果指標は、ありません。				

**後期基本計画策定時の「現状」と「課題」**

現 状	平成30年に福井しあわせ元気国体(自転車ロード・レース、相撲、カヌースラローム・ワイルドウォーター、パワーリフティング(公開競技))を開催する。国体に合わせて、全国障害者スポーツ大会・福井しあわせ元気大会(バレーボール(聴覚障害))を開催する。
課 題	選手が持つ全ての力を発揮できるような国体などの運営を行うことが求められている。市民一人一人がおもてなしの心を持って選手や役員、観戦者などを温かく迎え、交流が深まる魅力ある大会を目指し、本年開催予定のブレ大会とともに準備を進める必要がある。そのためには、国体などの成功に向けた機運を醸成し、市民や企業、関係団体などの協力を得て、全市的に取り組む必要がある。

**社会情勢・市民ニーズの変化**

福井しあわせ元気国体は、福井県選手団が天皇杯・皇后杯を獲得する活躍をし、記憶に残る大会となった。合わせて、2020年東京オリンピックが目前に迫り、市民のスポーツへの関心が高まっている。  
 また、高齢化が進展している状況において、健康のまちづくりを目指して、本年度から市民の健康意識の高揚とスポーツへの参画促進を関係課等との連携により積極的に推進するよう指示されている。

**現在の「現状」と「課題」**

現 状	実行委員会を中心に、本大会に向けた準備を進め、真名川サイクリングコースの整備やママチャリイベントの開催、競技力向上に資する事業に対する補助、各種大会・教室の開催などを行い、大会への機運醸成を図った。
課 題	・2020年東京オリンピックを目前に控え、今後は国体等で得られた貴重な経験を生かしながら、市民のスポーツ熱の高揚の維持を図り、さらなる競技力の向上とスポーツ実施率を高めることを通じた健康づくりを進める必要がある。

**基本施策の「成果」**

成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井しあわせ元気国体の正式競技として、自転車ロード・レース、相撲、カヌースラローム・ワイルドウォーターを開催した。また公開球技としてパワーリフティングを、デモンストレーションスポーツとしてサイクリングを開催し、すべての競技を成功裏に終了することができた。さらに福井しあわせ元気大会(全国障スポ大会)ではバレーボール聴覚障害の部を開催し、高円宮妃殿下が競技をご覧になる中、無事に終了することができた。市民ボランティアには、おもてなしの心で選手等を温かくお迎えしていただいたほか、大会運営や花いっぱい運動、クリーンアップ運動などに取り組んでいただき、大会を盛り上げていただいた。</li> <li>・国体などの開催を契機とした取り組みでは、真名川サイクリングコースの整備やママチャリイベントの開催、競技力向上に資する事業に対する補助、各種大会・教室の開催などにより、国体開催に向けた機運の醸成が図られ、本市開催競技や市民スポーツに対する関心が高まった。</li> </ul>
-----	---

**改善点**

- ・市民がスポーツに触れる機会を提供し、国体の本市開催競技の市民スポーツ化を図るためにサイクリングイベントや各種スポーツ大会・教室を積極的に開催する。
- ・市民の健康づくりを進めるため、関係課等と連携した取組みを行うことで、スポーツのみならず、食や生活習慣など市民の健康改善に資することへの関心を高める。